

## 播種適期が近づいています 播種の準備を進めましょう！

### 1. 排水対策と土壌の酸度矯正を忘れずに！

播種精度や発芽率の向上のために、湿害を発生させないほ場準備が重要です。事前に排水溝を設置・点検し、雨水がスムーズに排水されるよう準備しましょう。また、大麦の生育に適した土壌 pH は 6.2～7.0 です。アルカリ資材を散布し、酸度矯正をしましょう。

### 2. 大麦の播種適期は 10 月 15～31 日頃！

播種時期が適期から遅れると初期生育が不足し、収量低下につながります。遅くとも 11 月初旬には播き終わりましょう。

また、播く時期が早すぎても生育量が過剰になるため、適期に播種しましょう。

### 3. 播種が遅れた場合は播種量を増やす！

播種が遅れた場合や排水不良のほ場では、播種量を 1kg/10a 程度増やし、苗立数を確保しましょう。目標苗立数は 150～200 本/m<sup>2</sup>です(条間 25cm の場合、1m に 40～50 本程度が目安)。

#### 播種時期別の播種量の目安

播種時期	播種量 (/10a)
10 月 15～31 日	8～9 kg
11 月 1 日以降	9～10 kg

## 注意！

- ☞ 複年栽培の場合は、播種が遅れた場合でも播種量を過度に増やすと莖数が過多になり、品質低下に繋がります。
- ☞ 遅播きの場合、過度に施肥量を増やすと、倒伏の恐れがありますので避けましょう。